

「活用のためのチェックリスト」の使い方

①気になる児童生徒について、チェックリストの回答欄に○または△をつけます。

※ ○…よくある、△…ときどきある

②○や△をつけたものが多い項目に着目します。

③当該項目のヒントを参考にして支援の内容をケース会議等で話し合います。

☆複数人でチェックしてみましょう。

複数の目で確認することで、児童生徒について多角的・多面的に見てとることができます。

☆○や△のつかない項目にも注目しましょう。

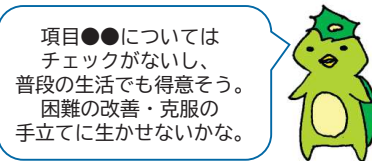
児童生徒の困難や苦手を改善・克服する手立てには、児童生徒の得意を生かすことが大事です。チェックがつかない項目は、児童生徒の得意につながるかもしれません。

☆「各校の支援」も蓄積しておきましょう。

あくまで本資料は「ヒント」です。各校の実践を記録したものを、本資料と一緒に綴じ込み、各校独自の支援のヒントを蓄積してみてください。

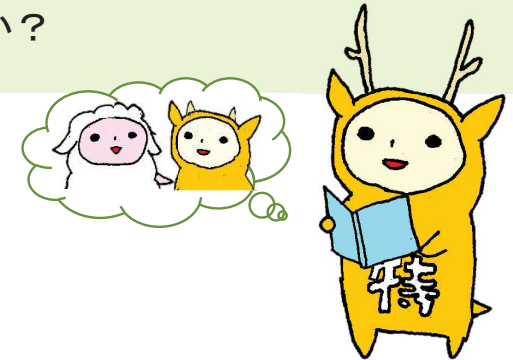


項目■■■にチェックが多いから、ヒントを参考にして支援の内容を考えよう。



項目●●についてはチェックがないし、普段の生活でも得意そう。困難の改善・克服の手立てに生かせないかな。

通常の学級に在籍する児童生徒等への支援についてチェックリストを活用して、ヒント集を参考にしてみませんか？



使ってみよう！

クラスでできる支援ヒント集

活用のためのチェックリスト

このチェックリストは、「クラスでできる支援ヒント集～通常の学級での配慮ある指導を目指して～」(山形県教育局、平成19年)を効果的に活用するために作成しました。

「クラスでできる支援ヒント集」は、よくある子どものつまづきとそれらに対する支援のヒントを、それぞれ見開き2ページずつにまとめています。どのページからでも参照できます。

なお、掲載されているのは、あくまで「ヒント」です。チェックリストを活用してヒント集を読み、まずどのような支援が考えられるか等、児童生徒の状況や学校の状況に応じて実践してみてください。

※右の二次元コードを読み込むと、「デジタル版チェックリスト」(Excelデータ)をダウンロードできます。デジタル版では、チェックした数の多い項目の「ヒント」がすぐ閲覧できるように、リンクを貼り付けています。



Q 一人一人の状況が異なるなか、適切な支援はどのように考えればよいのでしょうか？

A まずは「今できる支援」からやってみましょう。実践したうえで、もう一度先生方で困難の状況を確認したり、本人に学びやすさの変化を聞き取ったりして、適切な支援をみんなでつくりあげていきましょう！

☆自立した社会生活を送るために、必要な支援を本人が申し出ることができるようになることが大切です。支援の内容を話し合う際には、本人の意思が反映されるようにしましょう。

☆支援の内容を話し合う際には、特別支援巡回相談事業の活用も効果的です。PDCAの「P」と「C」=支援の実践前・後に相談し、よりよい支援(「A」)をめざしましょう。



<問い合わせ先>
教育局特別支援教育課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
TEL(023)630-2867 FAX(023)630-2774



※このリーフレットは山形県ホームページに掲載されています。

(<https://www.pref.yamagata.jp/700027/bunkyo/kyoiku/gakkoukyouiku/tokubetsu/hintosyu.html>)

山形県教育局特別支援教育課
令和7年4月

「クラスでできる支援ヒント集」デジタル版 チェックリスト

項目	回答:よくある…○、ときどきある…△、ない…無記入 子どもの具体的な姿	回答欄	ヒントへのリンク
1	耳の聞こえ方には問題がないのに、話の内容を聞きもらすことが多い。		聞き取りが 苦手…
	個別に話すと分かるが、大勢の中だと理解していないことが多い。		
	指示されたことにはうなずくが、誤解していることが多い。		
	いつも周りの友だちがやっている様子をみてから行動する。		
2	簡単な質問にも、話し始めるまでに時間がかかり、単語で返答することが多い。		話すことが 苦手…
	質問の意図に合わない答えをすることが多い。		
	「あれ」「それ」などの指示語が多く、話が相手に伝わらないことが多い。		
	うまく考えがまとまらず、事実を関連づけて話すことが苦手である。		
3	「ぬ」「め」、「ク」「ケ」、「人」「入」等、形の似た文字の判別がすぐできない。		読むことが 苦手…
	一字ずつであれば読めるが、単語として意識できず、読み方がたどたどしくなってしまう。		
	文字をとばしたり、付け加えたり、文末を変えたりして読んでしまう。		
	行をとばして読んだり、同じ行や前の行を繰り返し読んだりする。		
4	文章は読めるが、内容の理解(読解)にかかわって「いつ、誰が、どこで、何を、どのように(5W1H等)」といった基本的な内容が読み取れない。		読み取りが 苦手…
	「これ」「それ」等の指示語の意味がよくわからない。		
	文の内容をすぐ忘れてしまい、問題文や文章を繰り返し読まなければならない。		
	何を聞かれているのか、その文のキーワードになることがよく分からないために何度も読み返してしまう。		
5	ひらがなやカタカナが鏡文字になる。		文字を 書くことが 苦手…
	「ン」と「ソ」、「シ」と「ツ」等、似ている形の文字の書き違いがある。		
	「先生が言いました」「先生が行きました」など、同じ音の漢字を間違える。		
	文字のバランスがうまくとれなかったり、ノートの枠におさめて書いたりすることが難しい。		
6	板書をノートに書き写すのに時間がかかる。		文章を 書くことが 苦手…
	作文の時間は、書き始めるまでに時間がかかる。		
	体験したことを話すことはできるが、文章に表すことは苦手である。		
	「楽しかったです」といった、決められたパターンの表現になる。		
7	主語や述語が抜けた文章になる。		図形の とらえ方が 苦手…
	展開図が描けない。		
	垂直、平行などの理解ができない(向き合う面・交わる線が探せない)		
	作図の手順は理解できるが、描けない。		
8	表やグラフを正確に読めない。		運動が苦手…
	長さが正確に測定できないことや、奥行きイメージができない。		
	歩き方がぎこちない(片方に重心がかかっているような歩き方をする)。		
	歩くときに左右同じ手足が動く。		
	ボールを受け取る時、後ろにそらしてしまう。		
はさみを使って線に沿って切ることが困難である。			
大縄が回っているときにタイミングよく入れない。			
走り幅跳びで、踏み切り板に合わせられない。			

「気になる子ども」について、質問欄に回答してみましょう。

項目	回答:よくある…○、ときどきある…△、ない…無記入 子どもの具体的な姿	回答欄	ヒントへのリンク
9	教科書やノートをよく忘れる。		忘れ物が多い…
	宿題をやってくるのをよく忘れる。		
	決められた宿題や提出物を出すのを忘れる。		
	特別教室での授業に、必要なものを持っていくことを忘れる。		
10	整理整頓が苦手で、どこに何があるか分からなくなっている。		友だちとの トラブルが 多い…
	ちょっとしたことで、相手をけなしたり邪魔したりする。		
	学用品をめぐるトラブルが起きる。(なくなった。かくした。取った取られた等。)		
	ルール無視を級友からとがめられて、叩いたり悪態をついたりする。		
11	授業中に立ち歩いたり、廊下で物音がすると気になり教室から出ていってしまったりする。		落ち着きがなく 集中できない…
	すぐに注意がそれてしまい、学習に集中できないことがある。		
	一つの物事に、注意を集中しつづけることが困難である。		
12	自分の思い通りにならないと、興奮してかっとなり、相手に乱暴な言葉を浴びせたり、そばにいる子を叩いたりする。		自分を抑える ことが苦手…
	担任が話している最中や級友の発表中に、思いついたことを一方的に言ってしまう。		
13	ケンカになるなどトラブルが多い。		人との 関わりが 苦手…
	特定の人に同じことを何度も繰り返して話しかける。		
	休み時間や放課後など一人でいることが多い。		
14	運動会でみんながダンスをしている時に、離れた場所に座って土いじりをしている。		集団での 活動が苦手…
	仲間が力を合わせて作品を作ったり、合奏や劇の練習をしたりしている時にふざけたり、離れた所で一人で遊んでいたことがある。		
	親しい友だちが少なく、休み時間や放課後等一人でいることが多い。		
15	話の輪の中に加わっているように見えても、よく理解していないことがある。		会話が つながらない…
	親しい友だちをつくるのが苦手で、休み時間など一人でいることが多い。		
	話を聞きもらしてもそのままにしてしまうために、約束事や連絡を十分に理解していないことがある。		
16	予定時刻にこだわり、終了予定時刻が過ぎても活動が終わらないと急に怒り出す。		特定のことに こだわりがある…
	一日の日課(時間割)にこだわり、急な予定変更には抵抗を示す。		
	「今日の給食はパン？」など、自分でもわかっていることを何度も尋ねる。		
	整列の仕方、配布物の提出、一番等の順番・順序にこだわる。		
17	好きなことや得意なこと(食べ物、服、色、キャラクター、活動、音楽、出来事等)にこだわり、本来すべき活動に取り組めない。		片付け・ 整理整頓が 苦手…
	一度決めた約束やルールに極端にこだわったり、ルールの変更に抵抗を示したりする。また、守れない友達を激しく非難したり、注意したりする。		
	机、ロッカー、ランドセルの中が乱雑で、いつも学習用具の準備に手間取る。		
17	持ち物をなくすことが多く、机の周辺に物が落ちていてもさほど気にならない。		
	宿題等の提出忘れや、家庭への配布物が保護者に届かないことが頻繁にある。		



回答を記入した欄が多い項目の「ヒントへのリンク」をクリックし、支援例などを確認してみましょう！

回答を記入した欄が少ない項目には子どもの「得意」を見つけるヒントがあるかも…。

